

腎臓内科 Nephrology

1. スタッフ構成(2026年3月時点)

- 村上 太一(主任部長、腎糖尿病センター副センター長)
2000年徳島大学医学部卒
専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法
資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本腎臓学会腎臓専門医・指導医、日本透析医学会透析専門医・指導医、厚生労働省臨床研修指導医
- 鈴木 紗代(部長)
2010年徳島大学医学部卒
専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法
資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本透析医学会透析専門医、厚生労働省臨床研修指導医
- 谷村 智史(部長)
2011年長崎大学医学部卒
専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法
資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本腎臓学会腎臓専門医、厚生労働省臨床研修指導医
- 高橋 謙作(医長)
2014年岡山大学医学部卒
専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法
資格:厚生労働省臨床研修指導医
- 平田 彩乃(専攻医)
2022年愛媛大学医学部卒
専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法
- 中城 栄木(専攻医)
2022年愛媛大学医学部卒
専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法

2. 実績

■ 疾患別入院患者数

疾患名(ICD10 準拠)	2022	2023	2024	2025
慢性腎臓病・腎不全	40	34	32	40
急性・慢性腎炎症候群	75	77	82	70
ネフローゼ症候群	34	17	15	25
末期腎不全	111	105	78	73
急性腎障害	7	12	17	19
ブラッドアクセストラブル	68	73	81	92
血管炎・自己免疫疾患	19	15	43	49
心不全	11	15	20	15
CAPDトラブル	6	4	5	4
感染症	19	32	23	22
その他	4	3	17	10
合計	394	387	413	419

■ 透析

	2022	2023	2024	2025
腎代替療法外来受診数	100	100	71	78
血液透析 導入数	97	97	66	56
腹膜透析 導入数	2	8	6	8

■ 腎生検

診断名	2022	2023	2024	2025
IgA 腎症	21	18	19	28
膜性腎症	6	5	5	6
微小変化型ネフローゼ	2	1	2	4
糖尿病性腎症	2	5	3	2
微小変化	2	1	1	3
腎硬化症	4	3	3	7
移植腎生検	7	5	4	4
血管炎症候群	1	3	7	11
ループス腎炎	3	1	0	2
アミロイドーシス	0	2	2	1
間質性腎炎	1	3	3	4
巣状糸球体硬化症	1	2	2	2
膜性増殖性糸球体腎炎	1	1	0	3
その他	4	4	6	7
合計	55	54	57	84

<扁桃腺摘出術およびステロイド・パルス療法>

IgA 腎症に対しては、腎炎の活動性を評価のうえ、完全寛解を目指して扁桃腺摘出術を行い、その後、ステロイド・パルス療法および経口ステロイド投与を行っています。若年者ではほぼ全症例に推奨しています。

<腎臓病教育入院>

糖尿病、メタボリックシンドローム合併による腎不全患者が増加しています。腎機能維持と合併症予防のため、食事療法に加え栄養指導、運動療法を組み込んだ教育入院を行っています。

3. 2026 年度目標

- (1) 尿所見異常から、糸球体腎炎、慢性腎臓病、急性腎障害、腎代替療法までの総合的腎臓病診療を発展させること。特に、看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士を含めた総合的な生活指導の充実に努めます。
- (2) 腎生検診断の蛍光抗体検査と光学顕微鏡検査は当院病理部門で行い、1 週間程度で WHO 分類の診断を行います。
- (3) 腎代替療法は血液透析、腹膜透析、腎移植の 3 つの方法を説明・提案し、患者さんの生活スタイルに見合った治療方法を共に見つけていきます。
- (4) 慢性腎臓病は心・脳血管病変をしばしば合併するので、循環器病センターや脳卒中センターとも連携し、総合的管理を行います。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 菱田佑輔、鈴木紗代、平田隆、高橋謙作、谷村智史、村上太一、板橋今日子、木藤克己. C3 腎症の病理像を呈した多中心性 Castleman 病の 1 例. 日本内科学会第 132 回四国地方会. 高知 (2025.5.25)
2. 平田隆、村上太一、菱田祐輔、高橋謙作、鈴木紗代、谷村智史、本間義人、岡本憲省. 急性腎障害を契機に診断された化膿性脊椎炎および前立腺炎合併侵襲性非チフス性サルモネラ感染症の 1 例. 日本内科学会第 132 回四国地方会. 高知 (2025.5.25)
3. 中城栄木、鈴木紗代、菱田祐輔、平田彩乃、高橋謙作、谷村智史、村上太一. 消臭芳香剤の誤飲による急性尿細管壊死で緊急血液透析を実施した 1 例. 第 35 回愛媛人工透析研究会. 東温 (2025.8.30)
4. 菱田佑輔、鈴木紗代、平田隆、高橋謙作、谷村智史、村上太一、板橋今日子、木藤克己. C3 腎症の病理像を認めた多中心性 Castleman 病の 1 例. 第 55 回日本腎臓学会西部学術大会. 奈良 (2025.10.11-12)
5. 高橋謙作、中城栄木、菱田祐輔、平田彩乃、鈴木紗代、谷村智史、村上太一、橘さやか、中村純也. IgA 腎症合併肺癌患者に免疫チェックポイント阻害剤を投与した 2 例の検討. 第 55 回日本腎臓学会西部学術大会. 奈良 (2025.10.11-12)
6. 藤井愛途、村上太一、中城栄木、菱田祐輔、平田彩乃、西野雄貴、高橋謙作、谷村智史、本間義人、鈴木紗代. ペンジルペニシリンおよびプレドニゾロンで治療を行った梅毒関連二次性膜性腎症の 1 例. 日本内科学会第 133 回四国地方会. 高松 (2025.11.30)